NIE実践報告

1．タイトル：☆NIEとのコラボで目指せ！「生徒が輝く保健委員会活動」

2．学校名

福井県学校法人嶺南学園・敦賀気比高等学校

3．実践者名（代表者名）

坂本理香

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

生徒保健委員会　52人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事で保健委員会だよりを作ろう

7．目標(狙い)

従来、学校保健雑誌や、リーフレットの資料で作成していた保健委員会だよりを新聞の記事を使って製作することで新聞と親しみ、新聞を情報源として活用することを学ぶ。

8．評価の視点

心身の健康や環境、食育など自分たちの保健に関わる問題点を認識し、テーマに沿った記事選び、まとめができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

特別活動の中の生徒会活動として実施。また、学校保健安全計画において生徒保健委員会活動として「前期」「後期」それぞれ年間を通して、昼休み、放課後、夏期休業期間などを充てる。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（取り組みの手順）

①新聞社のNIEコーディネーター、NIE事務局の方による「新聞切り抜き作品作り講習会」の実施。学園　祭展示とコンクール応募の二つの目標を提示する。　②製作班の編成（昼休み、放課後の活動となるため、生徒個々の動きを考慮）。　③製作班ごとに取り上げる話題、テーマを決定し、記事を選ぶ（あらかじめある程度の記事をテーマごとに整理しておく）。　④タイトル、小見出しを考え、記事をレイアウトして台紙（模造紙）に貼る。　⑤蛍光ペンでポイントをマークしたり、マジック、色画用紙等を使ってデコレーションし、記事をひきたてる工夫をする。　⑥記事に対する自分の意見、感想、作品全体の感想等を書く。

（留意点）

＊作業時間の確保…各班の作業状況をチエックし、生徒個々の活動可能時間調整を援助する。
＊班員一人一人が選んだ記事に関連性、統一性を持たせ、テーマに見合った展開となるよう助言を行う。
＊生徒自身の気づき、感覚を尊重しながら、考えにふくらみを持たすための援助を行う。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

最初は、日頃なじまない新聞に苦戦している様子が見受けられたが、最終的には「今まで読みっぱなしだった新聞記事に意見や感想を持つ習慣がついたことが一番の収穫。」という発展的な感想を持つ生徒もいた。

12．成果と課題

上述の感想のように自分自身の生活習慣として「新聞を読んで情報を読み解く」という学びを得た生徒がわずかでもいたことが大きな成果である。最も大きな課題は時間の確保である。記事のレイアウトまでで、息切れしてしまい、最後まで興味を持ち続けて作業することが困難な生徒も少なくなかった。感想、意見の段階まで十分な指導が及ばず、中途半端に終わった班があったことが心残りである。